

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年3月14日

事業所名 児童デイサービスちゅーりっぷ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9/12	0/12		
	2 職員の配置数は適切である	9/12	0/12		人員配置は適切である。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7/12	2/12	完全バリアフリー化はされていないが、注意しながら対応はしている。急な階段、大きな段差あり。限られたもので最大限活用できている。	児童が安全に過ごせるように限られたもので対応していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10/12	0/12		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8/12	1/12	(課題) 全員で積極的に取り組む必要がある。	ミーティングや、朝礼で情報共有を行い、職員の意見を聞く体制を作り、対応していく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10/12	0/12		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2/12	5/12		今年度はInstagram等にて公開予定。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3/12	4/12	(課題) 第三者による評価がなされているか把握できていない	第三者による評価は行われていないが、協議会等でアドバイスや、ご意見をいただき、改善に努めている。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10/12	0/12	不定期ではあるが、研修を行っている。	今後は社内研修だけではなく、外部の講習会や研修に参加していく予定。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10/12	0/12		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7/12	1/12		職員間の情報共有をしっかりと行い、使用を促し、子どもにとって最適な支援を全体で行えるようにしていきたい。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8/12	0/12		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10/12	0/12		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	10/12	0/12		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9/12	1/12		活動を毎日違う職員が行うことにより、固定化されないようにしている。今後もいろいろなツールを使い、様々な活動を計画をしていきたい。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10/12	0/12			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10/12	0/12	朝のミーティングで日課、職員配置共有している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9/12	0/12	業務終了後、記録を打ちながら、会話の中で振り返りすることあり	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10/12	0/12		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10/12	0/12		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9/12	0/12		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9/12	1/12	(課題) 機会がなかったが、今後参加したい。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	10/12	0/12		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8/12	0/12		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10/12	0/12		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10/12	0/12		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8/12	2/12	姉妹店と情報共有、研修を行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7/12	3/12	児童館にて地域の子と交流している。	保育園に行くことは難しかったが、児童館のマミーキッズに参加したり、地域の子どものとの交流は何度かあった。今後も継続して参加し、交流を増やしていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6/12	3/12	機会がなかったが、今後参加したい。	西原町の社会障害福祉連絡協議会の会合には参加している。今後、機会があれば子ども部会等に参加したい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9/12	0/12	送迎の際に伝えているが、時間が限られている。	保護者とのじゅほう共有の時間が足りない場合は別途、面談を設け、対処したいと思う。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5/12	3/12		コロナ禍での開催が難しかったが、今後は感染対策を取りながら、保護者向けの講習等も企画していきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8/12	0/12		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10/12	0/12		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10/12	0/12	保護者と話をする場を設け、その際に助言をしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4/12	5/12	コロナ感染拡大で保護者参加のイベントは1度しかできなかった。	今後、コロナの感染状況を考慮しながら、保護者同士の交流が持てるようなイベントを企画する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10/12	0/12	保護者からの発信はすぐにキャッチし共有して返答するようにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10/12	0/12	毎月、デイ便りを発行している。また、Instagramにて日々の活動を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10/12	0/12		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10/12	0/12		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7/10	2/10	ハロウィンパーティーの際、地域の子や、他事業所を誘っている。	今後もハロウィンの企画を継続しつつ、地域の方と交流が持てるような事業運営を進めていきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10/12	0/12	適宜見直し、提示している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10/12	0/12	避難訓練をほぼ毎月行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9/12	0/12	アセスメント、予防接種歴表提出してもらっている。必要に応じて聴き取りも行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7/12	1/12	食物アレルギーの児童の利用は現在ない。	食物アレルギーの児童を受け入れた場合は主治医の指示書のもと職員間で情報共有を行い、対応をしていく予定。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10/12	0/12	ヒヤリハット報告書を作成し、ライン、回覧板にて情報共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9/12	0/12		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8/12	1/12	そのような事例はない。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。